



KONICA MINOLTA

HONDA



Racing Specialities



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS
FACTORY®

Bwin.com GRAND PREMIO DE PORTUGAL

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第14戦

エストリル(ポルトガル)[9月16日(日) 決勝 天気 晴れ]

#56 中野真矢 [予選13位 決勝11位 総合ランキング16位]

このコースは、ハイスピードコーナーと低速コーナーが混在する難しいサーキットだが、走り始めからマシンの感触が良く、特にタイヤのグリップを感じながら、まずまずの順位で練習を進めていくことができた。

予選セッション中に、フロントから転倒してしまい少し調子を崩し、それが少しレースに影響してしまった気がする。

レースでは後ろから追いつける展開ではあったが、何台か他のライダーをパスし、11位でゴールすることができた。

満足とは行かないが、茂木に向けてセットアップが決まってきたので、次のホーム GP が楽しみだ。



ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



今回は、ミシュランタイヤにアドバンテージがあったように思う。

真矢はスタート直後に順位を落としてしまい、その後上位まで順位を上げるのは難しかったようだ。

土曜日の転倒から少し攻める自信を失っていたのかもしれない。

しかし、練習中も良いラップタイムを刻んでいたことから、ここへ来て我々のパッケージは効果的に機能し始めている。

次の日本 GP では、真矢は自信を取り戻しホームグランプリを良い結果で飾ってくれると思っているよ！

OfficeFourEight

© shinya56.com